

わる気と感動

学校だより 13号

平成30年

8月31日(金)

= 輝城祭まで あと8日 テーマ『輪』 =

第8回南部中学校輝城祭のテーマは「輪 ～支え合い、伝え合い、高め合い～」です。それは「全校生徒が、準備・練習・本番・片付けに本気で取り組む中で、互いに支え合い、伝え合い、高め合える輝城祭にしたい。」という思いと、輝城祭を通して、全校が様々な場面で輪（学級の輪・学年の輪・部門の輪・全校の輪）を築く事が、今年度の生徒会スローガンである「進歩」につながっていくという生徒会事務局の考えから提案され、実行委員会で決められたものです。

ちなみに、峡南地区9中学校の学園祭の期間は、3校が1.5日、1校が1.3日、5校が1日という状況です。そのうち、土日の両日実施するのは南部中を含めて2校しかありません。本校の教職員がどれだけ輝城祭を大切にしているか、皆さんの成長をどれだけ期待しているか理解してもらえんと思います。

全校生徒が180名足らずの南部中学校ですから、輝城祭では、様々な取り組みを一人何役もこなしながら展開しています。今週一週間も猛暑の中とてもハードな日程で取り組みました。やるが多ければ多いほど、頑張れば頑張るほど全ては自分の力となって返ってきます。

学園祭の価値は、一人ではできないこと、一人では学べないことを学べること、大勢の人との協力や関わりの中で、一つの目標を成し遂げていく喜びや感動を味わえることです。南部中の生徒でなければ得られない本物の感動を、たっぷりと味わってほしいと願っています。

あと8日間の取り組みでどこまでテーマに迫り、お互いを高めていけるかは、南部中生徒一人ひとりの気持ちをどれだけ結集できるかにかかっています。みんなの思いをひとつにし、自分たちの力で輝城祭テーマ『輪』を築いていきましょう。

<ちょっと考えてみましょう！>

～体育部門の目指すものとは？～

体育部門では勝敗を競います。しかし勝つことだけを目指すわけではありません。それぞれのチーム（学級、縦割り）で、団結して勝利を目指していくこと、ルールに則って全力でプレーすること、精一杯仲間を応援すること等が価値あることで、体育部門で目指すものだと思います。競技が終了した後、それぞれのチーム（学級、縦割り）がどのような気持ちや態度で閉会式に臨むことが、輝城祭体育部門で目指す『輪』に繋がるのかを考えてみてください。

～閉祭式の目指すものとは？～

南部中では、数年前の閉祭式で花火を上げていました。お金をかけて花火を上げると確かにその場は盛り上がります。ある学校ではやはりお金をかけて、県内の有名アーティストをサプライズで招待して盛り上がったそうです。確かにその場は盛り上がり、思い出にも残るかもしれませんが。しかし、盛り上がりや本物の感動は、自分たちの努力や活動があってこそ得られるものです。テーマの『輪』を達成し、一人ひとりの成長が確かめられるような閉祭式であってほしいと願っています。

一人ひとりが、今、係わっている部門（部活）や学年の取り組み、全校の取り組みについて、輝城祭テーマ『輪』の目指すもの、目指す姿をイメージして、あと一週間取り組んでもらいたいものです。

*来週は大型の台風の上陸が心配されます。大きな影響がなければ良いのですが。ただ、万一活動できない日や時間があっても大丈夫なように、早め早めに取り組んでいきましょう。